

ジュズカケハゼ

スズキ目ハゼ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

Gymnogobius castaneus (O'Shaughnessy)

選定理由

一部の地域を除き、溜池やそれに通じる狭い範囲の水路など、これまでに確認されている生息場所が孤立した状況下にある。

形態

体型などはシンジコハゼやピリンゴと区別が付き難いが、頭部に感覚管や感覚管開孔がまったく見られない。

国内分布

北海道から福井県、長野県、東京都。

県内分布

七尾市、中能登町、宝達志水町、かほく市、津幡町、金沢市、能美市、小松市、加賀市。

生態

幼魚の時期は溜池の岸部で浮遊生活をしているが、成長とともに底生生活へと移行する。

生息地の条件

溜池における生息地では、オオクチバスの放流が行われていない。

生存の危機

溜池の改修などによる、生息地の攪乱。(A, C)

特記事項

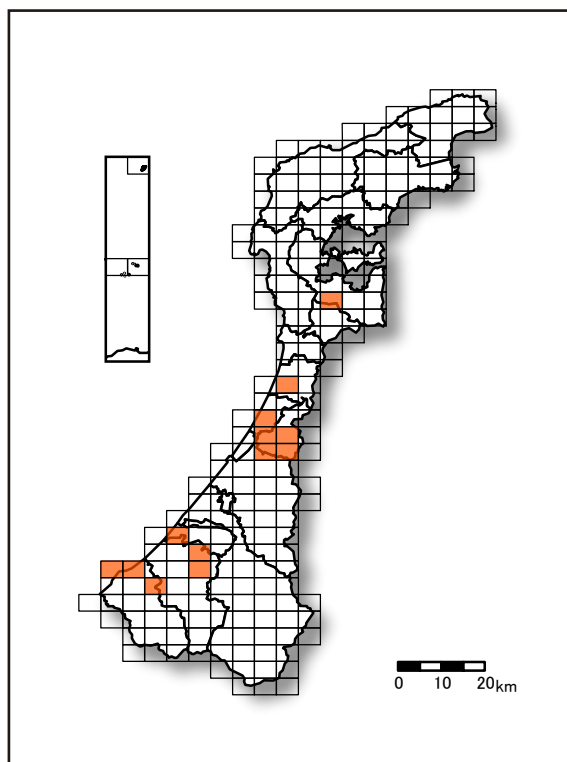
現在確認されている生息地の中には、連続性が見られない場所もあることから、一部のものは移入された可能性がある。

参考文献

Stevenson, D.E. 2002. Systematics and distribution of the Asian goby genera *Caenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichtys:Perciformes:Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*. 7: 251-312.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布